

若鳩

二学期を振り返って



教頭 杉山 太夏子

早いもので、令和四年も残すところ十日ほどとなりました。新型コロナウイルスの感染予防策を行いながらの学校生活は依然として続いています。今年度は様々な学校行事をほぼ予定どおり実施することができています。

夏休み以降の活動をいくつか振り返ってみますと、まず、七月二十三日から八月二十三日まで四国総体が行われました。本校からは、陸上競技、卓球、剣道、ソフトテニス、弓道、ライフル射撃、水泳、フエンス、アーチェリーといった競技に生徒が選手として参加し活躍しました。高知県でもいくつかの競技が開催され、多くの生徒と先生方が運営の係として協力してくれました。二十四年ぶりの四国開催ということもあり、皆さんそれぞれの思い出に残る

大会になったことと思います。また、七月三十一日から八月四日にかけて開催された、とうきょう総文には、合唱、吹奏楽、書道、将棋、新聞の各部門にエントリー。参加し、各々の力を発揮しました。

そして、八月十七日、十八日には、中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会が高知追手前高校芸術ホールを会場として行われました。現地開催は三年ぶりです。ステージ発表のみの開催ではありませんでしたが、小津高校の代表チームも研究内容を堂々と発表することができ、現地開催のよさを改めて感じたことでした。

また、九月二十二日にはミニ文化祭が、二十七日、二十八日には大体育祭が行われ、久しぶりに全校生徒が一堂に会しての学校行事となりました。

WAKABATO
発行所
高知県立高知小津高等学校
総務部・PTA事務局
〒780-0916
高知市城北町1-14
TEL 088-822-5270
FAX 088-823-6387

た。ミニ文化祭では、文化系クラブや生徒会等を中心とした出し物が行われ、芸術の秋を満喫することができました。また、体育祭では、生徒の皆さんがひたむきに競技に打ち込む姿や迫力ある応援合戦に感動し、胸が熱くなりました。

十月二十一日に秋晴れの日と行われた遠足では、各ホームそれぞれがバスに乗って四国・岡山のいろいろな場所に行き、ホームでの親睦を深めました。

学校行事が充実することで、学校生活にメリハリがつくように感じます。

ところで、話は変わりますが、東北大病院の正門前にある救命救急の碑の話を聞いたことがあるでしょうか。一九九九年に病院正門前の歩道で自転車に乗っていた女子高生がバランスを崩して車道に倒れ、後ろからきたバスに轢かれるという事故が起きました。その場に居合わせた誰もが、目の前にある東北最大の医療機関に搬送されると思いましたが、女子生徒を乗せた救急車が向かったのは、約三キロ離れた別の病院でした。当時の東北大病院は常時患

第99号若鳩

- ・二学期を振り返って
- ・活躍の記録
- ・PTAの活動報告
- ・ミニ文化祭
- ・体育祭
- ・SSH活動状況報告
- ・カウンセラーだより
- ・図書部 読み聞かせ
- ・ホームデー
- ・進路指導部より
- ・後期生徒会役員決定 など

者を受け入れておらず、診療は夜間や休日に限られていたためだそうです。このことがきっかけとなり、東北大病院の在り方を見直されました。

病院長の働きかけにより救急医療の充実が最優先課題とされ、「患者を第一に考える医療を。目の前で倒れた人に手を差し伸べることができなかったことへの反省を胸にとどめてほしい」との願いを込めて、二〇〇四年に碑が建てられました。そして、二〇〇六年には、院内に高度救命救急センターが開設され、東日本大震災の際には、八十人を超える患者がヘリで搬送されるなど、多くの命を救ったそうです。

日々の授業には、物事を違った角度から見たり、見方・考え方を磨く機会がたくさんあります。先生の説明や友達との考えを聞いて、これまで自分になかった考え方を得ることもあれば、課題研究での質疑をとおして自身の研究内容を深めることもあると思います。数学では式の見方を変えないと解けない問題もあったりします。そうした違う見方や考え方をする力というのは、大学入試で求められる力の一つでもあります。

この話は、私たちに世の中には変えるべきことがまだ数多くあるというのを伝えてくれていると思います。そして、それらは実際に変えることができるということも教えてくれています。生徒の皆さんには、常に社会にアンテナを張り、世の中の変えるべきことに気づき行動できる人になつてもらいたいです。そのためにも、今以上に視野を広げ、物事をいろいろな角度か

ら見る目を養うことが必要です。日々の授業には、物事を違った角度から見たり、見方・考え方を磨く機会がたくさんあります。先生の説明や友達との考えを聞いて、これまで自分になかった考え方を得ることもあれば、課題研究での質疑をとおして自身の研究内容を深めることもあると思います。数学では式の見方を変えないと解けない問題もあったりします。そうした違う見方や考え方をする力というのは、大学入試で求められる力の一つでもあります。

活躍の記録

《書道部》 《★書道選択者》

◆第50回全国高校書道展
推薦

- 藤本 晴 (1-2 H)
- ★今橋 優月 (1-6 H)

特選

- 保木 円香 (2-1 H)
- 石川 結理 (2-2 H)
- 高橋 瑞奈 (2-3 H)
- 石元 萌愛 (2-5 H)
- 古澤 朱夏 (2-5 H)
- 中野 瑚春 (1-6 H)
- ★吉永 太洋 (1-6 H)

◆第56回記念高野山競書大会

- 全日本書道連盟賞
- 石川 結理 (2-2 H)
- 審査委員長賞
- 大地ちひろ (3-4 H)
- 保木 円香 (2-1 H)
- 南山賞
- 保木 萌 (2-2 H)

◆第19回安芸全国書展高校生大会

- 書道振興協会長賞
- 大地ちひろ (3-4 H)
- 書道美術館賞
- 石川 結理 (2-2 H)
- 石元 萌愛 (2-5 H)
- 入選
- 川下 陽菜 (3-5 H)
- 保木 円香 (2-1 H)

◆第24回高校生国際美術展

- 書の部
- 大地ちひろ (3-4 H)
- 石元 萌愛 (2-5 H)
- 佳作
- 川下 陽菜 (3-5 H)
- 保木 円香 (2-1 H)
- 石川 結理 (2-2 H)
- 北村 芽生 (2-2 H)
- 保木 萌 (2-2 H)
- 古澤 朱夏 (2-5 H)
- 藤本 晴 (1-2 H)

◆第33回中岡辻山記念全国書展

- 書展
- 辻山奨励賞
- 保木 円香 (2-1 H)
- 北村 芽生 (2-2 H)
- 石元 萌愛 (2-5 H)
- 中野 瑚春 (1-6 H)
- 褒状
- 保木 萌 (2-2 H)
- 入選
- 川下 陽菜 (3-5 H)
- 石川 結理 (2-2 H)
- 高橋 瑞奈 (2-3 H)
- 古澤 朱夏 (2-5 H)
- 藤本 晴 (1-2 H)
- 池澤 未唯 (1-3 H)

《音楽部》

◆第46回全国高等学校総合文化祭東京大会(とうきよう総文2022)

- 合唱部門
- 出場
- 西村 竜弥 (3-7 H)
- 岡本 清美 (2-1 H)
- 西内 琴音 (2-1 H)

《吹奏楽部》

◆第46回全国高等学校総合文化祭東京大会(とうきよう総文2022)

- 吹奏楽部門
- 出場
- 宮本 智貴 (3-4 H)
- 前田 悠貴 (3-5 H)
- 水野 華帆 (2-3 H)
- 石元 愛未 (2-4 H)
- 下村ひなき (2-4 H)
- 坂本 葵 (2-5 H)
- 森岡 優 (2-6 H)

《新聞部》

◆第46回全国高等学校総合文化祭東京大会(とうきよう総文2022)

- 新聞部門
- 文化連盟賞
- 鍵山 悠里 (2-1 H)
- 西内 琴音 (2-1 H)
- 和田 拓真 (2-3 H)
- 立花 輝良 (1-2 H)
- 文化連盟賞・出場
- 種田 翼 (2-4 H)
- 大原稜一朗 (1-2 H)

《女子バレーボール部》

◆高知県高等学校バレーボール秋季大会(春高バレー県予選)

- 1回戦
- 小津2-1丸の内
- 2回戦
- 小津2-0幡多農業
- 準々決勝
- 小津0-2明德義塾
- 成績 ベスト8

《卓球部》

◆第75回四国高等学校卓球選手権大会

- 男子団体
- 出場
- 榎嶋 直樹 (3-2 H)
- 倉内 丈虎 (3-2 H)
- 平山 高大 (3-4 H)
- 濱田 尚人 (2-1 H)
- 吉岡 優 (2-3 H)
- 武内 颯音 (2-6 H)
- 浜田 悠吾 (1-7 H)

○男子ダブルス
ベスト8

- 濱田 尚人 (2-1 H)
- 武内 颯音 (2-6 H)
- 出場
- 倉内 丈虎 (3-2 H)
- 平山 高大 (3-4 H)

○男子シングルス
第2位

- 濱田 尚人 (2-1 H)
- 榎嶋 直樹 (3-2 H)
- 出場
- 榎嶋 直樹 (3-2 H)
- 女子シングルス
- 藤本 そら (3-2 H)

◆令和4年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会第91回全国高等学校卓球選手権大会

- 男子シングルス
- ベスト32
- 濱田 尚人 (2-1 H)
- 令和4年度高知県高等学校夏季卓球大会
- 男子団体
- 第3位
- 濱田 尚人 (2-1 H)
- 吉岡 優 (2-3 H)
- 武内 颯音 (2-6 H)
- 市川 慶多 (1-4 H)
- 嶋崎 一颯 (1-6 H)

○男子ダブルス
ベスト8

- 門脇 永十 (1-1 H)
- 濱田 悠吾 (1-7 H)
- 男子シングルス
- 第1位
- 濱田 尚人 (2-1 H)

《将棋囲碁部》

◆第58回全国高等学校将棋選手権大会

- 女子個人戦
- 出場
- 岡村 彩絢 (1-7 H)

◆VICTAS杯中高オープン夏季卓球大会

○団体

第1位

濱田 尚人(2-1H)

吉岡 優(2-3H)

武内 颯音(2-6H)

市川 慶多(1-4H)

嶋崎 一颯(1-6H)

◆令和4年度高知県高等学校秋季卓球選手権大会

○男子団体

第2位

濱田 尚人(2-1H)

田淵 圭真(2-5H)

山崎 太紘(2-5H)

武内 颯音(2-6H)

門脇 永十(1-1H)

市川 慶多(1-4H)

嶋崎 一颯(1-6H)

◆令和4年度全日本卓球選手権大会県予選会(一般の部)

○男子シングルス

第3位

濱田 尚人(2-1H)

◆第52回高知県高等学校新入陸上競技対校選手権大会

○女子やり投げ

第1位

安並 未来(2-6H)

○男子800m

第1位

橋詰 暁伸(2-4H)

○女子800m

第2位

下總 彩夏(2-5H)

第3位

岩下 陽海(2-7H)

○女子4×400mリレー

第3位

下總 彩夏(2-5H)

高田 芽衣(2-6H)

岩下 陽海(2-7H)

高橋 亜子(1-3H)

◆第35回春野オープン記念陸上競技大会

○女子1500m

第2位

下總 彩夏(2-5H)

第3位

岩下 陽海(2-7H)

○男子4×400mリレー

第3位

橋詰 暁伸(2-4H)

明神 賢明(2-4H)

山本 健斗(2-4H)

鍋島 巧樹(2-5H)

◆第24回四国高等学校新入陸上競技選手権大会

○男子800m

第2位

橋詰 暁伸(2-4H)

◆第23回高知市陸上競技カ

一二ハル

○一般男子400m

第3位

橋詰 暁伸(2-4H)

○一般女子1500m

第2位

下總 彩夏(2-5H)

○一般女子やり投げ

第2位

安並 未来(2-6H)

◆2022年度香川陸上競技カ一二ハル大会

○男子800m

第2位

橋詰 暁伸(2-4H)

○女子3000m

第1位

下總 彩夏(2-5H)

○女子800m

第2位

岩下 陽海(2-7H)

◆《男子ソフトテニス部》

第72回四国高等学校ソフトテニス選手権大会

トテニス選手権大会

○男子団体選手権

出場

藤川 幸明(3-5H)

伊藤 彬人(3-5H)

平田 拓也(3-6H)

織田 智聖(2-3H)

二俣 朔也(2-4H)

西川 大翔(2-5H)

大崎 陸矢(2-6H)

高畑 湊(2-7H)

○男子個人選手権

出場

藤川 幸明(3-5H)

二俣 朔也(2-4H)

◆令和4年度高知県高等学校ソフトテニス秋季大会

○男子団体戦

第3位

織田 智聖(2-3H)

多田 勝星(2-4H)

二俣 朔也(2-4H)

西川 大翔(2-5H)

大崎 陸矢(2-6H)

高畑 湊(2-7H)

松岡 徳人(1-1H)

◆《女子ソフトテニス部》

第72回四国高等学校ソフトテニス選手権大会

トテニス選手権大会

○女子個人選手権

出場

松尾 柚月(3-3H)

中田美香子(3-4H)

細川 未羽(3-4H)

好永 涼乃(3-6H)

◆《女子剣道部》

令和4年度第56回四国高等学校剣道選手権大会

○女子団体

出場

大野絢弥音(2-1H)

松村 桃花(2-2H)

久保 蘭(1-2H)

久保 鈴(1-3H)

川崎 水晶(1-6H)

刃田めぐみ(1-6H)

藤原 桔花(1-7H)

◆令和4年度第20回高知県高等学校剣道夏季剣道形大会

○女子

第3位

大野絢弥音(2-1H)

松村 桃花(2-2H)

◆《男子弓道部》

令和4年度高知県高等学校弓道夏季選手権大会

○男子個人

第6位

杉本 右京(2-7H)

◆《ライフル部》

第21回四国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

フル射撃競技選手権大会

○BR60J

出場

畑中 晴樹(3-4H)

小松 憲生(3-5H)

○BR60J

出場

竹崎 徹(3-4H)

濱田 勝己(3-5H)

小松 暉(3-7H)

○BR60WJ

出場

秋山 舞実(3-1H)

石本 都(3-6H)

森田万祐子(3-6H)

○BP60WJ

出場

伊藤 天音(2-2H)

井上 美空(2-3H)

○BP60J

出場

田邊 皓基(3-1H)

濱田 勝己(3-5H)

○チームピストル男子個人

出場

田邊 皓基(3-1H)

濱田 勝己(3-5H)

◆令和4年度高知県高等学校ライフル射撃競技夏季選手権大会

○チーム・ライフル少年男子
立射60発個人
第5位
村田 龍星 (2-2 H)

第6位
乗本 新太 (2-4 H)

第7位
中川耕史郎 (2-6 H)

第8位
安岡 大翔 (2-5 H)

○チーム・ライフル少年男子
立射60発団体
第2位
乗本 新太 (2-4 H)

岡 依吹 (2-6 H)

○チーム・ピストル少年女子
60発個人
第2位
伊藤 天音 (2-2 H)

◆令和4年度高知県高等学校ライフル射撃競技秋季選手権大会兼新人大会

○チーム・ライフル少年男子
立射60発個人
第6位
乗本 新太 (2-4 H)

第7位
中川耕史郎 (2-6 H)

○チーム・ピストル少年女子
立射60発個人
第4位
伊藤 天音 (2-2 H)

○チーム・ライフル少年男子
立射60発団体
第3位
乗本 新太 (2-4 H)

岡 依吹 (2-6 H)

○チーム・ライフル少年女子
立射60発団体
第3位
上森 キキ (1-4 H)

原 有由 (1-4 H)

夕部 吏穂 (1-5 H)

◆《水泳同好会》
第73回四国高等学校選手権水泳競技大会

○男子200 m平泳ぎ
出場
笹岡 春樹 (1-6 H)

○男子100 m平泳ぎ
出場
笹岡 春樹 (1-6 H)

◆令和4年度高知県選手権水泳競技大会兼国体代表選手最終選考会

○男子50 m平泳ぎ
第4位
笹岡 春樹 (1-6 H)

○男子100 m平泳ぎ
第3位
笹岡 春樹 (1-6 H)

◆第7回高知県学年別水泳競技大会

○高校1年男子50 m平泳ぎ
第2位
笹岡 春樹 (1-6 H)

◆《その他の活躍》
第77回国民体育大会 (10月1日、11日)

いちご一会とちぎ国体
○参加選手
陸上競技部

橋詰 暁伸 (2-4 H)

フエンシング
尾崎 史龍 (2-5 H)

尾崎 勇飛 (2-6 H)

○監督
ソフトテニス少年女子
秋元 杏理

◆令和4年度高知県高等学校国際教育生徒研究発表大会

○意見発表の部
優秀賞
谷岡 奈緒 (3-1 H)



PTAの活動報告

令和四年度第七十一回全国高P連石川大会に参加しました
総務部長 小笠原 剛

全国高等学校PTA連合会石川大会が八月二十五日(木)、二十六日(金)の二日間、金沢市で開催され、本校から小串顧問と二名で参加してきました(高知県としては十八名の参加)。大会前日に県高P連の佐竹会長らと空路、JRを利用し、途中八月初旬の北陸豪雨で大きな被害を受けた福井県南越前町の現場を目のあたりにし、改めて被害の大きさを実感させられました。また、宿舎から日本三名園のひとつである兼六園に向かい、雄大な庭園風景を堪能させてもらいました。バレーボールコート四面が取れる石川総合スポーツセンターで開会式に先駆け、地元高校生のアトラクションの後、表彰式が行われ、昨年まで県高P連会長を務めた顧問の小串さんが役員表彰を受けられました。その後、参加した第一分科会における慶應義塾大学教授の中室氏の「新時代の家庭教育、今、伸ばすべき本当に必要な力」というテーマの講演では、急変する社会環境の変化で、高校生の親としてどのようにかが子の成長と向き合い寄り添っていけばよいのか今一度見詰め直し、家庭・学校の連携について再度PTAの在り方について考えさせられました。

二日目の、(株)ファミリーマート顧問の澤田氏による講演では自身の経験から、感謝される人間になることの大切さや、人のために尽くせば自身に返ってくるなどなど実体験を踏まえての話に、生徒にも聞いてもらいたい内容が多々ありました。

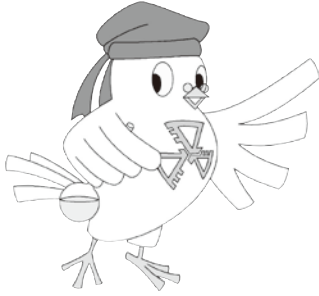
今回の大会に参加し、県外の学校での取組、活動など聞くことができました。これらを参考に本校のPTA活動をさらに活発なものにしていきたいと思います。

一年生保護者等対象
学校探検ツアー&
部活動見学

十月二十二日(土)の午後、PTA一年生学年委員会の主催で、学校探検ツアーが実施されました。六十名以上の保護者等が参加され、四つのグループに分かれて本校教員の案内のもと校内を探検しました。東館、保存棟、芸術棟を回り、生徒達が日頃授業や部活動で利用している教室を見学したり、校史資料室では小津高校の歴史に触れたりしていただきました。学校探検ツアー終了後は自由に部活動を見学していただきました。ここでは普段見ることのできないお子様の姿をみられてよかったとお声もいただきました。来年度以降も是非続けて開催したいものです。

二年生保護者等対象
進路説明会

十月十五日(土)の午後、PTA二年生学年委員会の主催で、進路説明会が実施されました。一七十名ほどの保護者等が参加され、本校進路指導部長の説明を聞きました。説明の内容は、近年の大学入試の日程や傾向、進路決定の仕方、大学や社会でこれから必要とされる能力など多岐にわたりました。進路決定において大切な時期である二年生の二期に、進路に関する説明を行うことができて良かったです。



グローバルトークONU
〜異文化・国際交流会〜
(PTA国際委員会)

十一月三日(木)、本校にて「グローバルトークONU〜異文化・国際交流会〜」が開催され、生徒二十五名、保護者等七名、教員数名が参加しました。

初めに、外務省NGO相談員の竹内よし子様から、途上国に対する支援の現状など国際協力の動向についての講演をしていただきました。その後は高知市内在住外国人(龍馬学園で日本語を勉強中の留学生)を六名お招きして、グループディスカッションを行いました。当日は高知フアイティングドッグスのサンフォ・ラシイナさんも特別に参加していただきました。「NGOの活動を初めて知った」「異文化について知れて良かった・楽しかった」等の感想が寄せられ、参加者は充実した時間を過ごすことができました。



坂本龍馬記念館と
桂浜水族館見学
(PTA研修委員会)

十一月三日(木)、PTA研修委員会主催の坂本龍馬記念館と桂浜水族館見学行事が行われ、生徒と保護者等ご家族が十五名、そして本校教員二名の計十七名が参加しました。

坂本龍馬記念館では職員の方から龍馬についてのお話と館内についての説明を受けた後、自由に館内を見学して回りました。企画展も開催されており、幕末・龍馬ファンの方には特に興味深かったことと思われる。続いての桂浜水族館でも、トドの訓練をショーのような形で目の前で見る事ができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。天候にも恵まれ、有意義な研修となりました。この行事開催にあたっては、研修委員長に尽力いただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。



文化祭

9月22日(木)にミニ文化祭が開催されました。新型コロナウイルス感染防止のため、各ホームでの中継視聴による開会式、課題研究表彰及び研究発表を行った後、文化部の発表を中心にした文化祭が始まりました。生徒会企画のビンゴゲームの効果も相まって、多くの生徒が様々な企画場所を訪れました。この日に向けて準備した展示、発表などを行った文化部等の団体はとても良い経験になったと思います。

コンサート

音楽部



吹奏楽部



コーコソング部



ハンドメイド部



書道部



茶道部



生物部



地学部



科学部





漫画研究部



写真部



課題研究発表



華道部



英語部



図書部



美術部



新聞部



将棋囲碁部



3年生3人によるダンス

体育祭

新型コロナウイルスの影響により、2年間で中止となっていた体育祭が今年ついに開催されました。残念ながら天候に恵まれず、9月27日(火)は午前のみで終了してしまいましたが、翌日の28日(水)に午後の部を行い、無事に全日程を終えることができました。

個性を生かしたパネルや趣向を凝らした応援合戦が準備されており、素晴らしいものでした。また、様々な競技で、勝利に向けて懸命に取り組む姿が見られました。充実した2日間を過ごした生徒たちは満足そうでした。

開会式



選手宣誓



パネル



100m走



1年



2年



3年

障害物競走



ムカデ競争



行き先はわからん

タイヤ奪い



1年



2年



3年

青組応援



赤組応援



黄組応援



部活対抗リレー



スピード派



スピード派



アピール派



アピール派

○×クイズ



いなばのハト渡り



騎馬戦



1年



2年



3年

玉入れ



二人三脚



綱引き

ホーム対抗リレー決勝



色別対抗リレー



閉会式



〈結果〉

- 総合優勝 … 黄組
- パネル大賞 … 赤組
- 応援大賞 … 青組



令和四年度SSH活動の概要

第IV期SSH経過措置一年目となる令和四年度も、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策に留意しながらSSH活動を実施しています。オンラインが中心であった昨年度と異なり、感染症対策を講じながら対面での活動が再開され始めました。今回は、六月下旬以降に実施されたSSH活動の様子を中心に紹介いたします。

SSH課題研究活動 ◆普通科 総合的な探究の時間

○地域の課題講演Ⅱ(一年) 六月二十四日(金)、普通科一年生を対象として、高知大学次世代地域創造センターの講師 梶 英樹 様より、「持続可能な開発目標(SDGs)から考える高知の未来」と題して講演をいただきました。

一・二ホームの生徒は研究室で講演を聞き、三・六ホームの生徒は各ホーム教室でオンラインという形で講演に参加しました。

講演は、SDGsの17の目標が定められた理由など、SDGsを理解することから始まりました。その後、生徒たちの生活と結びついている事例を取り上げたことで、SDGsを身近な問題として捉えることができました。講演後の感想でも、生徒が個々に取り上げている社会問題は様々あり、社会問題を自分の問題として考えているように感じました。



研修室での講演の様子

○課題研究学年発表会(三年)

七月一日(金)、普通科三年課題研究学年発表会を行いました。クラス発表会で選出された、各クラスの代表者六名が、「研究背景、研究目的・意義、研究方法」、「結果」、「考察」について発表しました。

コロナウイルス感染症拡大防止のため、評価者である本校のSSH運営指導委員と一部の教員だけを研修室に集め、発表や質疑応答を行いました。その他の生徒

たちは、ホーム教室にてライブ配信でその様子を見ることとなりました。

出席いただいたSSH運営指導委員の皆様からは、研究への質問や着眼点の良かったところなど多くの助言をいただきました。課題研究を通して得た貴重な経験は、高校卒業後の大学生や社会人となつてから、必ず役立つものと思われま



ホーム代表者の発表の様子

○地域の課題講演Ⅲ(一年)

九月三十日(金)、普通科一年生を対象として、高知工科大学情報学群教授 吉田 真 様より、「人工知能AIの最先端と高知県や地域での活用」と題して講演をいただきました。

講演だけでなく、再来年から導入される共通テスト「情報」に向け、プログラムニングの体験も行いました。

ニュース等で取り上げられてくる「AI」によってなる仕事」について恐怖

感を抱いていた生徒たちが、AIとどう向き合うのかを考え、これからの社会をどう生き抜くかまで考えることができました。また、人手不足の農業にAIを活用している事例を知り、十一月に実施する地域フィールドワークにもつながる講演となりました。



オンラインで講師に質問中

◆理数科 SSH課題研究発表会・成果報告会

七月二十三日(土)、本校研究室にてSSH課題研究発表会を開催しました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、今年度は、ハイブリッド形式での発表会を実施しました。発表生徒と二年生及び来賓、保護者等の方々は会場で発表を聞き、一年生と県内関係者はオンラインで発表を視聴しました。

連携校である京都府立桃山高等学校のグローバルサイエンス部にも来校いただき対面での発表をしていただき

きました。

入学時から続いている新型コロナウイルスの影響もあり、どのチームも研究が思うように進まない時期がありました。オンラインを活用して外部の有識者の方々からアドバイスをいただくなど、様々な工夫をしながら研究に取り組んできました。

四月の四国地区SSH生徒研究発表会や六月のPTA総会でのポスター発表を通して研究のブラッシュアップを図り、各チームがこの発表会に向けて入念に準備を進めてきました。

発表会では、研究で得られた結果を分析し、そこから得られた結論をスライドにまとめ、研究成果として発表しました。来賓やSSH運営指導委員の方々からの鋭い質疑に対しても丁寧に応答することができました。

この貴重な経験を今後の活躍に生かしてもらいたいと思います。



研究発表の様子



SSH成果報告会の様子

また、午後からは同会場にてSSH成果報告会を行いました。

今年度も、参加者を本校SSH運営指導員、高知県教育委員会、こうちファミリードミニウム協会、本校理科数科の保護者等に限定して会を実施しました。

SSH成果報告会では、まず研究主任が「SSH事業の活動内容と成果」の説明を行いました。その後、普通科の北川さん、理科の堀切さん、竹村さん、卒業生の樋口さんが、SSH活動を通して、感じたことや身につけたことなどを発表してくれました。特に、卒業生の樋口さんからは、SSH事業を通して、英語をつかって研究内容をまとめた経験が、進学後大いに役立つなどの説明があり、本校での取組について、来賓の方々からお褒めの言葉を多くいただくことができました。

◆第二十四回中国・四国・九州地区理科数科高等学校課題研究発表大会
(高知大会)

中国・四国・九州地区の理科数科設置校の代表生徒が



SSH生徒研究発表会の様子

◆SSH生徒研究発表会
(兵庫県神戸国際展示場)

八月三日(水)、四日(木)に、SSH生徒研究発表大会が開催されました。同大会は全国のSSH指定校や経験校から生徒や教育関係者が集まり開催されました。

本校からは、「反射光を抑制できるソーラーパネルの形状に関する研究」(物理分野)の三名が参加し、ポスター発表を行いました。

感染対策がされた会場でポスター発表を行い、多くの専門家の方々からアドバイスをいただくことができ、貴重な機会となりました。また、全国各地の高校生と交流を深めることもでき、充実した時間を過ごすことができました。

◆若鳩祭で課題研究発表
九月二十二日(木)に行われたミニ文化祭では、探究学習の成果報告として、普通科課題研究より「英語が話せるようになるには」と「ニューノーマル時代における高知県の旅行・観光について」アウトドア需要を活か



研究発表の様子

一堂に集まり、課題研究の成果を発表する大会です。今年度は高知県での開催でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、ステージ発表のみの開催となりました。

本校からは「新規人工甘味料の研究開発」(化学分野)が参加し、発表を行いました。

有機合成に取り組み、得られた物質の化学構造と毒性の関係などについて地道な研究が成されており、高校生とは思えないほどレベルの高い研究で、課題研究への熱意の高さを感じることものできる発表でした。

◆理数科の課題研究
二学期からは二年生の課題研究活動が本格的に始まりました。現在、物理一・化学三・生物三・地学一・数学一の全九グループに分かれて活動を行っています。

課題研究の時間以外にも休み時間や放課後を使って担当教員に相談をしたり、先行研究の調査や実験に取り組んだり、各グループが頑張っている姿が見られています。

◆ミニ課題研究
(理数探究基礎)
一年生理数科では、理数探究基礎の中で、ミニ課題研究Ⅱに取り組んでいます。

一学期は、化学分野において、課題研究に必要な実験器具の扱い方を学ぶとともに、リサーチクエスチョンや仮説を立てて実験活動を行い、その成果を発表することで、課題研究の流れを体験しました。

二学期からは、物理・生物・地学・数学の各分野に分かれてミニ課題研究Ⅱに取り組んでいます。「なぜ」という疑問を大切に、探究活動を進めてもらいたいと思います。

した集客は可能か」と、また理数科課題研究より「反射光を抑制できるソーラーパネルの形状に関する研究」の三テーマの発表を行いました。発表会場と各教室をオンラインで繋ぎ、感染症対策にも留意して実施しました。

◆「短期集中体験ゼミ」
物理実験体験ゼミ
七月二十四日(日)、および二十七日(水)の午後、本校物理実験室で、物理実験体験ゼミを実施しました。二十四日は三名、二十七日は六名の生徒が参加し、高知大学の加藤治一先生から超伝導の講義を受け、実験を行いました。

はじめに超伝導について講義があり、実験のねらいや概要、理論などを確認しました。その後、三人の班に分かれて、TAの指導の下、体験実習に臨みました。試料を液体窒素で冷却し、超伝導体の性質を観察しました。磁石に対して完全反磁性を示し、超伝導体が浮く様子が見られました。また液体窒素を用いた実験では空気中の酸素が冷やされて液体になると水色になるのを確認しました。続いて超伝導体の温度を下げて電気抵抗が0になることを確かめる実験を行いました。最後のまとめでは、各班が行った実験の結果についてグラフを用いて発表しました。

限られた時間の中で主体的に研究に取り組むことで「仮説・実験・考察・検証」の手順を習得し、将来的に日本を支える科学技術系人材に育ってほしいと思います。



温度を下げ電気抵抗を測る実験

◆科学巡検体験ゼミ

理科数科および普通科生徒四名が、ユネスコ室戸世界ジオパーク周辺においてフィールドワークを行いました。一日目の室戸岬周辺では隆起したタービダイトの砂泥互層の様子、貫入した斑レイ岩や磁鉄鉱、斜長石らがわかりやすく大きな結晶を形づくった鉱物の様子を観察できました。また、室戸海洋深層水アクアファームでは、深層水から作られた飲料を試飲し味の違いを確認したり、グソクムシ・ピンクナマコ・フエカワムシなどの生きた生物を直接触ったりできました。

二日目の磯活動では、潮だまりに生息する魚・エビ・カニ・海藻・貝などを観察し、生物たちが限られた環境の中で有利にかつ安全に行動するため棲み分けをしています。その他にも、むろと廃校

◆化学実験体験ゼミ



大山岬の海食台にて、砂岩を観察中

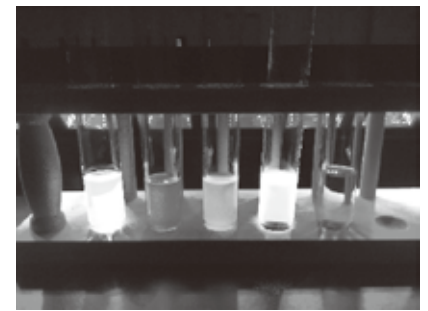
水族館や室戸ジオパークセンターで、魚の学習行動や海成段丘の地形について学習しました。今回の巡検を通して、東部の自然や暮らしについてより理解を深めることができました。

十月十五日(土)高知大学理工学部で、化学実験体験ゼミを行いました。午前の部では、化学生命理工学科の今村和也先生より「光触媒の超親水化」について講義を受けた後、「触媒による色素の合成」実験を行いました。触媒の違いが化学反応に及ぼす影響を体験的に学ぶため、異なる四種類の触媒を使った反応と触媒を使わない反応でフルオレセインの合成を行いました。実験後は、発光という現象についての補足説明をしていただき、一つの現象を深く掘り下げて考えていくことの意義について教えていただきました。



シリンジで反応物を注入する様子

午後からは、永野高志先生の「グリニヤール試薬を用いた炭素-炭素結合形成反応」についての実験を行いました。フラスコ内を窒素で置換した特別な条件下で、目的物の合成を行い、TLCを用いて目的物だけを単離した後、化学反応式と分子量を用いて収率を求めました。



触媒の有無による生成量の違い

製薬会社や大学などで行っている専門的な実験で、難しい内容を考えた場合に、と

でも貴重な体験をすることができました。

●サイエンスフィールドワーク 瀬戸大橋にて、巨大建築構造物の見学実習 (理数科二年生)

十月二十一日(金)に、香川県にある瀬戸大橋記念館と与島PA内でサイエンスフィールドワークを実施しました。



与島PAのアンカレイジ内での研修の様子

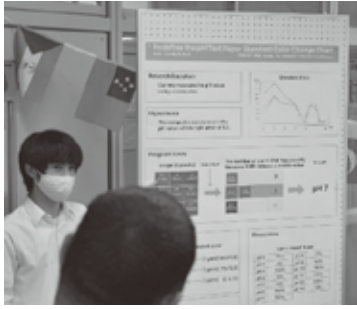
●「科学英語」 (理数科二年生)

二年生の科学英語は、「酵素」をテーマに英語でのプレゼンテーションに取り組みました。ALTのエマ先生による講義を聞いた後、グループで仮説を立て実験を計画しました。

温度条件や、pHの条件を変え、アミラーゼ(ジアスターゼ)や、カタラーゼについて調べました。鶏のレバーに含まれるカタラーゼが過酸化水素を分解し、酸素を発生することを、線香を用いて調べる班もありました。



カタラーゼの実験の様子



英語でのポスター発表会の様子

英語でのプレゼンテーションでは、協力、分担して発表を行いました。

(理数科三年生)
三年生の科学英語Ⅱでは、科学論文の研究要旨の読解を通して、英語を用いた研究のまとめ方について学んできました。

十月二十六日(水)に、科学英語の総仕上げとして、高知工科大学の長崎政浩先生、高知大学の太西浩平先生をはじめ、高知大学の外国人留学生七名、県内A L T三名の計十二名をお招きして、英語による課題研究ポスター発表会を行いました。

図表の説明など、日本語で結果の説明など、日本語では当たり前に行えることでも、英語で発表することは難しく、はじめは戸惑う様子が見られましたが、ジェスチャーを交えながら懸命に説明し、最後まで発表をやり遂げることができました。



香りのある分子の合成実験の様子

◆その他
理数拠点校としての科学推進事業「中学生科学実験講座」
八月九日(火)、中学生を対象とした実験講座「香りのある分子の合成」を本校の化学実験室で行いました。中学生九名に参加いただき、カルボン酸とアルコールからエステル合成実験を行いました。高校で学習する内容で、少し難しい実験ではありますが、自分たちで分子の合成ができることを体験してもらいました。中学生の皆さんには、高校での学びを知るきっかけにしてもらえたのではないでしょう。

*SSH活動の様子は本校HPに掲載しています。



カウンセラー



スクールカウンセラー
吉野 飛鳥

小津高校のみなさん、こんにちは。
長かった二学期がようやく終わろうとしています。

日常の生活や学校行事が通常に近い形で実施できるようになり、それに取り組む生徒の慌ただしくも楽しそうな姿に私もエネルギーをもらってました。

勉強に部活に受験にとなかなか自分の時間も持てないまま日常を過ごされている生徒さんも多いように感じています。「頑張ること」は大切なことですが「ホッとできる時間をもつこと」もとても大切なことです。友人との関わりや家族と過ごす時間、一人で好きなことに没頭できる時間などホッとできる時間は人によって様々ですが、みなさんは何が思い浮かぶでしょうか。目標に取り組みうとする時にこそ、気持ちの和らぐ時間を大切にしながら切り替えができるといいですね。まずは二学期を乗り越えた自分を労い、楽しい冬休みをお過ごし下さい。また三学期にお会いできることを楽しみにしています。

【利用方法】

- 日時：水曜日（10：00～17：30）
- 場所：西館4階カウンセリング室
- 予約：ホーム主任、教育相談部、養護教諭の先生方を通じて予約をお願いします。（空いていれば予約なしでも利用できます）
- 面接時間：30～50分程度

「絵本を読むことは、
時間を押し進めたりする」と

昨年度に続き今年度も、「絵本の店 コッコサン」の店長・森本様を講師にお招きして、校内の読み聞かせ講習会を行いました。残念ながら、近隣保育園での読み聞かせ実習を行うことはできませんでしたが、参加した三年生の保育士等志望者八名と、図書部員十一名とで、有意義な時間を過ごすことができました。

夏休みに入ってほどない七月二十六日(火)、約一時間の講習をしていただきました。開始前はやや緊張のムードが漂っていましたが、一つ、二つと活動に参加するうちに体も表情もほぐれ、笑顔が広がっていきました。全員が熱心に参加し、学んだことを自身に取り入れようとすると熱意が感じられました。講習の中で、「毎日忙しい過ごし方、小さな子どもの保護者の方が、小さな子どもに絵本を読んであげるといことは、時間をプレゼントするということ。絵本の中身よりも、子どもは

『自分のために時間を使ってくれた、同じ時間を共有してくれた』ということに對して、愛情を受け取った、自分自身は居ていいんだ、という自己肯定感を育んだりしていくのではないかと考えています。」と仰っています。

「講習会に参加した生徒の感想から」

・ 絵本を読むことは時間をプレゼントするということ。え方が素敵だなと思った。
・ 楽しく聞いてほしいと思いつつ、聞き手には伝わると分かった。
・ (絵本の) 絵には作家の様々な工夫が詰め込まれていることを意識してみようと思った。



ホームステイ先へ行く準備中

十月二十一日(金)にホームデー(遠足)を行いました。県外へ行くことができる遠足は三年ぶりでした。ホームごとに行き先を決め、晴天の中、バスで出かけていきました。香川県の「ニューレオマワイルド」や「四国水族館」など県外まで出かけたホームもあれば、県内で動物園や果樹園などに赴いたり、体育館を借りて体を動かしたりするホームもありました。三年生にとっては高校生活最後の行事となりました。入学したころから新型コロナウイルスに悩まされた学年でしたが、最後に良い思い出ができたのではないかと思います。



努力こそが合格の切り札

進路指導部

今年も残すところはや十日余りとなりました。一月十四日(土)、十五日(日)には大学入学共通テスト(以下、共通テスト)が実施され、大学入試も本番を迎えます。本年度、本校からは二五一名の生徒が共通テストに出願しています。先週末には共通テスト本番と同様の日程で予行演習を行い、いよいよ仕上げの時期となりました。全国でも約五十万人以上の受験生が出願し、目前に迫った試験に向けて追い込みをかけています。体調管理に努めながら、最後の最後まで全力を尽くして頑張ってください。

さて、二年目となった昨年度の共通テストでは、どの教科・科目でも、思考力や判断力が試され、しかも読解力重視で高速の情報処理能力が必要な出題傾向がより鮮明になりました。特に、問題文の長文化や対話文形式の増加が見られ、新入試制度の導入二年目は難

化すると予想されていましたが、その予想を超えるレベルで、全体の平均点が大きく下がりました。共通テストの大きな特徴として、試験時間に対して問題量が非常に多いことが挙げられます。確実に点数を獲得するには、基礎的な知識を身につけるだけでなく、試験時間を無駄なく効果的に使うための対策も忘れずに行ってほしいです。三年生にとって、この冬休みはまとまった時間がある最後のチャンスです。試験時間の使い方で、共通テストの得点はさらに伸びると信じて、時間配分や解答順序、そして難しい問題の見切り方など、十分な対策をしてください。

今年度は、二〇二一年の共通テスト導入の「大学入試改革」と二〇二五年の新課程入試(現高校一年生が学ぶ新カリキュラムに基づく入試)のちようど中間年度で、変化は少ない

と言われていますが、その中でも、いくつかの変更点が見られます。例えば、高知工科大学では、理工学群(環境理工学群を名称変更予定)、情報学群をそれぞれ「4→3専攻」への改編が予定されています。また、それに伴い、新規の募集方式が導入され、共通テストの理科の配点が重視されるなどの変更が見られます。また、全国の志願動向に影響を与える変更点としては、岡山大学が全学部で後期日程の募集を廃止することが挙げられます。詳しくは各大学のホームページで最新の情報をこまめに確認してください。

一・二年生の皆さんは、目の前の勉強にしっかり取り組むとともに、ぜひ「何を学ぶために大学に進学するのか」についても考えてください。進路目標を実現するために、現在どのような勉強や活動をしているのかを振り返ってみましょう。三年生になったときに、総合型選抜や学校推薦型選抜だけでなく、一般選抜でも、自分の言葉で、三年間の成果を書くことが求められます。そして、自分の進路希

望について、保護者等と十分話し合い、準備を始めてください。

最後になりましたが、入試直前期は心身の状態を安定させることが第一です。生活の安定が体調不良の予防につながり、精神の安定にもつながります。早寝早起きを心掛け、生活リズムを整えましょう。そして、今年もまた、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されています。マスク着用や手指の消毒、うがいの徹底などの基本的な感染対策をしっかりと行い、最後まで諦めずに頑張ってください。

三年生の皆さんのご健闘を心よりお祈りしています。



令和4年度 後期生徒会執行部役員

役職	氏名	学年・ホーム
生徒会長	瀬尾 生 恭	2-4 H
副会長	高橋 祐 作	2-4 H
文化部長	山崎 伶 央	2-3 H
文化副部長	安並 未 来	2-6 H
体育部長	中田 結 那	2-6 H
体育副部長	谷本 萌 愛	2-6 H
交流推進部長	大西 優 羽	2-4 H
交通自治部長	鍋島 渚	2-5 H
交通自治副部長	山崎 侑 奈	1-2 H
保健美化部長	外崎 伶 奈	2-3 H
保健美化副部長	吉本 奏 音	2-3 H
広報伝達部長	岡 依 吹	2-6 H
広報伝達副部長	谷山 咲 太郎	1-4 H
会計部長	山下 涼 禾	2-4 H
書記	寺本 海 里	2-5 H
会計監査委員長	竹内 涼 菜	1-1 H
会計監査副委員長	中川 耕 史	2-6 H

令和四年度 後期生徒会執行部役員決定!

十一月四日(金)、令和四年度後期生徒会役員執行部の立候補者による演説会が中継により行われました。今回の選挙は立候補者が多く、生徒会長は四名による決選投票となりました。副会長他の役員は全校生徒の信任投票により、役員が決定されました。

令和四年度後期生徒会役員の任期は、十一月七日(月)より令和五年五月予定の役員選挙当日までとなります。



生徒会長コメント

生徒会長を務めさせていただくことになりました。瀬尾生恭です。「人の心は発言では動かない。人の心を動かすのは行動。」これは私の座右の銘です。小津高校の生徒・教職員そして保護者等の皆様の心を動かせるような会長を目指して日々精進していきたいと思えます。また、小津高生全体の学力の向上、校則の改正、そして「自分らしさ」が輝く学校づくりにも取り組み、皆さんが過ごしやすい学校になるよう尽力していきたいと思っています。何分初めてのことばかりで至らない点もあるかと思いますが、先生方・保護者等の皆様のご指導のもと全力で取り組んでいきたいと思っております。若輩者ではございますが、今後ともよろしく願っています。

今後の主な行事予定

1月10日(火)	始業式
1月14日(土)・15日(日)	一・二年生課題テスト
1月14日(土)・15日(日)	大学入学共通テスト
1月31日(火)・2月4日(土)	二年生修学旅行
2月7日(火)・2月11日(土)	一年生修学旅行
2月14日(火)	第三回実力テスト
2月21日(火)・27日(水)	学年末試験発表
2月24日(金)	学年末試験
2月28日(火)	卒業式準備
3月1日(水)	卒業式予行
3月17日(金)	卒業式
3月17日(金)	終業式

県内国公立大学 総合型選抜・学校推薦型選抜 合格状況

高知大学	13名
高知県立大学	8名
高知工科大学	13名

編集後記

今号では大体育祭とミニ文化祭の様子を中心に掲載しました。三年間中止になっていた体育祭を今年が行うことができたため、日々頑張っている生徒たちへの励みになったのではないかと思います。

二学期も保護者等の方々をはじめ、関係する皆様のご協力のもと、無事に終えることができました。受験シーズンも到来し、追い込みの時期に入っていますが、くれぐれも健康にご留意のうえ、有意義な冬休みをお過ごしください。今後とも、皆様のご理解、ご協力をよろしく願ひ申し上げます。

*若鳩はホームページでもご覧いただけます。
<https://www.kochinet.ed.jp/ozu-h/>

